

# 名古屋市営交通事業経営計画 2028

## 計画の理念・計画期間

### ▶ 策定の趣旨

市営交通 100 周年という節目を迎えて最初の計画となる「名古屋市営交通事業経営計画 2028」は、名古屋のまちの将来に貢献できるよう、人々の価値観や生活様式、社会・経済情勢などの事業環境が大きく変わる時代に適応し、持続可能な経営を実現するために策定するものです。

### ▶ 計画の理念

変わる時代に、変わらぬ使命のために！

“安全・安心、快適・便利な交通サービスを提供する”  
という変わらぬ使命を果たし、  
名古屋のまちの将来に貢献できるよう、  
事業環境が大きく変わる時代に適応しながら  
持続可能な経営を実現します

### ▶ 計画期間

令和6年度から  
令和10年度までの5年間  
(長期的展望に立った収支  
計画は、令和15年度まで  
の10年間)

## 取り組む施策

### ▶ 施策の構成

交通局が取り組むべき課題を踏まえ、取り組むべき施策として整理しました。  
取り組む施策は、柱立てとなる4つの大きな枠組みと12種類の施策によって構成されます。



### ▶ 施策構成に込めた思い

上記の体系図は、施策を推進する土台として「施策4 持続可能な経営の確立」を進めるとともに、交通事業者として最も重要な責務である「施策1 安全・安心の推進」を中心に据え、「施策2 快適性・利便性の高いサービスの提供」や「施策3 まちの将来に向けた行動」にも取り組むことを示しています。

これらの施策のもとに、施策を実現するための78の具体的な事業がひもづきます。

施策を実現するための事業

【凡例】◎：新規事業 ○：拡充事業 ・：継続事業

施策1 安全・安心の推進

お客さまに安全に、安心して市バス・地下鉄をご利用いただけるよう、輸送の安全性の向上、災害対策やセキュリティの強化を図るとともに、施設などの計画的な維持管理を進めます。

1-1 輸送の安全性の向上

- ◎ バス車両への安全装置の導入
- ドライブレコーダーの機能強化
- 可動式ホーム柵の整備
  - ・ 輸送の安全に関する研修等の実施
  - ・ 運輸安全マネジメントの推進
- ◎ 乗務員の健康管理の充実



■可動式ホーム柵（イメージ）



■輸送の安全に関する研修

1-2 災害対策・セキュリティ強化

- ・ 地下鉄構造物の耐震補強
- ◎ 浸水警報装置の整備
- ◎ 想定し得る最大規模の風水害への備え
  - ・ 災害発生時の情報発信
  - ・ 災害・危機対応力の向上
- ◎ 地下鉄車両への車内カメラ設置
- 駅構内カメラの増設



■車内カメラ（イメージ）

1-3 計画的な維持管理

- ・ バス車両の更新
- ・ バス料金箱の更新
- 地下鉄車両の更新
  - ・ 地下鉄車両の主要電気機器の更新
- ◎ バス停留所施設管理システムの開発
  - ・ 地下鉄構造物の長寿命化
  - ・ エレベーター・エスカレーターの更新
  - ・ 地下鉄電気設備の更新



■バス車両

## 施策2 快適性・利便性の高いサービスの提供

お客さまの快適性・利便性を高めるため、施設のリニューアルや誰もが利用しやすい環境づくりを進めるとともに、お客さまのニーズに対応したサービスの提供に取り組みます。

### 2-1 施設のリニューアル

- ・ バスターミナルの環境改善
- ・ 停留所施設の整備・改修
- 駅のリニューアル
- ◎ 駅のリフレッシュ
- ・ 駅構内トイレのリニューアル



■改札口(イメージ)

### 2-2 誰もが利用しやすい環境づくり

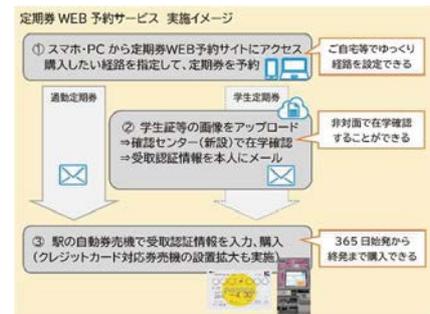
- 駅のエレベーターの整備
  - ・ ホームと車両の段差・隙間の改善
  - ・ 駅のバリアフリー設備の充実
  - ・ バス車内への液晶式停留所名表示器の設置
  - ・ 地下鉄の車内案内表示装置の多言語化
- 駅の旅客案内表示装置の更新
  - ・ わかりやすい案内サインの整備
- 戦略的な情報発信
  - ・ 市バス・地下鉄のマナー啓発



■ホーム先端部のかさ上げ

### 2-3 ニーズに対応したサービスの提供

- ◎ 定期券 WEB 予約サービスの導入
- ◎ クレジットカード対応券売機の設置拡大
- キャッシュレス化の推進
  - ・ バスの路線・ダイヤの見直し
  - ・ 地下鉄のダイヤの見直し
- 東山線の混雑緩和策の検討
  - ・ 駅ホームの冷房化
- ◎ データの利活用によるニーズの把握・分析
- ◎ 「標準的なバス情報フォーマット」に準拠した情報の整備



■定期券 WEB 予約サービス(イメージ)



■標準的なバス情報フォーマット(イメージ)

### 施策3 まちの将来に向けた行動

名古屋のまちの将来を見据え、交通事業者として、まちづくり等との連携や環境負荷の低減、子ども・子育てのサポートのために行動します。

#### 3-1 まちづくり等との連携強化

- ◎ 栄駅の総合的な整備
  - ・ リニア中央新幹線の開業に向けた名古屋駅の整備
  - ・ 周辺のまちづくり等との連携
- 企業・大学・地域・他部局等との連携



■大学との連携（シンポジウム）

#### 3-2 環境負荷の低減

- ・ 照明のLED化
- ◎ 非化石エネルギー自動車の試行導入
- ◎ 高圧配電の送電ロスの削減に向けた整備
- ◎ エコドライブの推進
- 公共交通利用の促進



■燃料電池バス

#### 3-3 子ども・子育てのサポート

- ◎ 「子ども・子育てサポートベンチ」の設置
- ◎ 地下鉄車両への「子ども・子育てサポートスペース」の設置
- ◎ 駅でのベビーカーレンタルの試行導入
- 授乳室の設置
- ◎ 子ども向け特設サイトの開設



■子ども・子育てサポートベンチ  
(イメージ)



■授乳室（イメージ）

## 施策4 持続可能な経営の確立

将来にわたって安定的に交通サービスを提供し続けるため、収入増加策の展開や事業運営の省力化・効率化などの経営改善に努めるとともに、人材の確保や職員力の向上を図ります。

### 4-1 収入増加策の展開

- 広告料収入の確保
- 資産の有効活用
- ◎ 戦略的な利用促進策の展開
  - ・ イベントの開催などによるお出かけ促進
  - ・ 企画乗車券の発売
- ◎ 寄附金収入の確保



■ 車内デジタルサイネージ

### 4-2 事業運営の省力化・効率化

- 市バスの管理委託の拡大
- ◎ 地下鉄車両の整備業務の効率化
- ◎ 効率的な駅務業務の検討
- ◎ 保線業務の効率化
- ◎ デジタル技術の活用による業務の効率化
  - ・ 工事コストの縮減
  - ・ 経常的な経費の縮減
- ◎ レトロでんしゃ館・資料センターの機能分化
- 市バス事業の経営基盤強化



■ なごや市バス・地下鉄応援寄附金返礼品（市バス局章）

### 4-3 人材の確保・職員力の向上

- 安定的な人材確保のための取組みの実施
  - ・ 働きやすい環境づくり
- 職員の教育訓練体制の強化
  - ・ 接客サービス向上のための取組みの実施
  - ・ コンクールの実施



■ 仮眠室の個室化



■ 接客コンクール

## 計画目標・乗車人員の見通し・収支計画

### 市バス



#### 計画目標

- ・令和10年度に1日当たり32万6千人の乗車人員
- ・計画期間中に経常収支を黒字化

乗車人員については、令和15年度に市バス・地下鉄を合わせて令和元年度と同水準となることを目指します。

#### ●乗車人員の見通し



#### ●収支計画

区分	R元	R5	計画期間					計画期間後				
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
経常収入	256	250	276	283	289	294	299	297	293	286	282	280
経常支出	244	262	281	286	290	295	298	296	290	283	278	276
経常収支	12	△12	△5	△3	△1	△1	1	1	3	3	4	4

- ・計画期間中に約215億円の投資（建設改良費）を予定しています。

### 地下鉄



#### 計画目標

- ・令和10年度に1日当たり131万1千人の乗車人員
- ・計画期間中の経常収支の黒字を確保（累計396億円以上）

乗車人員については、令和15年度に市バス・地下鉄を合わせて令和元年度と同水準となることを目指します。

#### ●乗車人員の見通し



#### ●収支計画

区分	R元	R5	計画期間					計画期間後				
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
経常収入	929	854	874	887	903	903	906	907	908	910	911	925
経常支出	778	757	798	810	819	822	828	834	846	854	861	870
経常収支	151	97	76	77	84	81	78	73	62	56	50	55

- ・計画期間中に約930億円の投資（建設改良費）を予定しています。